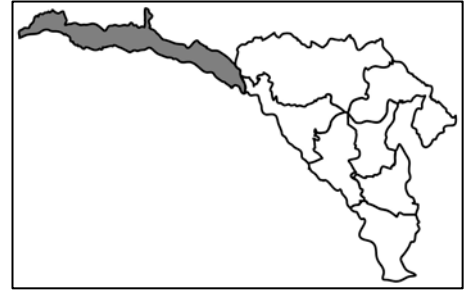


～相原・小山地域～

◇町目構成◇

相原町、小山町、小山ヶ丘



相原・小山地域は、町田市の北西部に位置し、相模原市、八王子市に接しています。地域は東西に細長く、南を流れる境川付近から北に向かって、低地、台地、丘陵地が連続しています。また境川からは幾筋の谷戸が広がり、町田市の地形の特徴が凝縮された地域です。

西端の大戸緑地や地域北側の丘陵地には、豊かな樹林が残り、全体として緑豊かな景観が見られます。一方で、多摩境駅を中心に、多摩境通り周辺は近年開発整備が進み、緑が少なくなるなど景観の急速な変化が見られます。また、地域を東西に貫く町田街道沿いは、商業施設が建ち並び一方で、旧街道の面影を残す場所も見られます。

①景観づくりのテーマ

1)水と緑に恵まれた自然環境に調和した景観づくり

樹林や水系などの自然環境や、地域の北側に続く多摩丘陵の緑、大規模な公園や緑地など、水と緑に恵まれた自然環境がつくりだす景観を維持・保全します。また、地域内に残る農地や町田街道沿いに残る歴史ある街道の面影などに配慮し、緑豊かな環境と一体となったまち並み景観づくりを進めます。

2)地域生活の中心となる駅周辺の秩序ある景観づくり

多摩境駅周辺及び多摩境通りの沿道では、周辺の緑豊かな環境や眺望に配慮しながら、秩序あるにぎわいの景観づくりを進めます。また、車の交通や歩行者に配慮し、うるおいのある沿道の景観づくりを進めます。相原駅周辺では基盤整備とあわせ、周辺地域の日常生活の中心にふさわしい景観づくりを進めます。

②相原・小山地域の景観づくりの作法

<地形>

◇丘陵地、台地、低地が南北に凝縮された地形

相原・小山地域では境川付近から北側の丘陵地に向かって高くなる地形のため、隣接する相模原市の市街地、丹沢・大山の山並み、その向こうにそびえる富士山など南西方向に開けた眺望や、町田街道の北側に連なる丘陵地の尾根線などの眺望が随所で見られます。



随所で見られる特徴的な眺望に配慮し、その眺めを多くの人が共有できる景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

見通しのきく坂道・階段／台地と低地の境／高台にある公園・広場／主要な幹線道路／
境川 などからの眺望

<農や緑>

◇町田市西部の厚みのある自然

西部にある相原町は、多くが樹林に覆われ、厚みのある自然景観が広がります。特に最西部にあたる大戸緑地には、市内でも標高が最も高い草戸山や境川の源流もあり、豊かな樹木の生い茂る山地の景観が見られます。

町田市西部の豊かな自然環境を維持・保全するとともに、樹林の生い茂る山地への眺望に配慮した景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

町田市西端の山地（大戸緑地など）

◇東西に連なる丘陵地の緑

町田街道から北側には丘陵の斜面が続き、大規模な公園（相原中央公園、小山三ツ目山公園、小山白山公園、都立小山内裏公園、小山上沼公園など）を中心に樹林等の緑が連続しています。公園は憩いの空間となるとともに、斜面の緑が連なる姿は地域の景観の要素のひとつです。

東西に連なる丘陵の尾根の緑の稜線や丘陵地内の公園や緑地のまとまった緑を維持・保全するとともに、それらと一体となる緑豊かな景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

相原中央公園／小山三ツ目山公園／小山白山公園／都立小山内裏公園／小山上沼公園など



小山白山公園

◇尾根緑道

尾根緑道には、桜やケヤキなどの木々が大きく育った並木道が続いています。春夏秋冬それぞれの季節を味わうことができる空間は、憩いの場として多くの市民に親しまれています。緑道からは南西方向に連なる大山・丹沢の山並みや、市街地を見渡すことができます。

尾根緑道の並木道の景観と尾根緑道から望む周囲の良好な眺望を維持・保全し、多くの人が眺望を楽しめる景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

尾根緑道



尾根緑道からみた夕景

<まち並み>

◇周辺の緑に囲まれた集落・住宅地

小山町付近では、町田街道の北側から小山ヶ丘に向かう斜面地には農地が各所に残り、落ち着いた住宅地が東西に続きます。また、境川の周辺の住宅地の中にも、農地や樹林、生垣などが残り、うるおいとやすらぎのある景観が見られます。

住宅地の近くに農地や樹林が多く残る地域では、緑の連続性や、緑の映える色彩、素材等に配慮し、自然資源と馴染む住宅地のまち並みづくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

小山町付近の農地／境川周辺の住宅地の樹林や生垣



◇**大学等を拠点とする周辺の緑と一体となった景観**

地域内には、法政大学や東京家政学院大学などがあります。大学のキャンパス内は、豊かな緑に囲まれ、丘陵地の緑と一体となり周辺地域の拠点的な景観要素となっています。

大学等の周辺では、大学キャンパスを拠点とする丘陵地の緑と一体となった緑豊かな景観を、周囲にも連続させていくような景観づくりを行います。

◆**配慮すべき景観要素◆**

法政大学／東京家政学院大学など

<河川・水辺>

◇**境川沿いの開放感のある景観**

相模原市との境界付近を緩やかな弧を描いて境川が流れます。河川沿いには桜並木や、西端の大戸緑地には源流があり、北にのびるいくつかの支流でも、周辺の環境と調和した水辺の景観をつくり出しています。片所谷戸では蛍が見られるなど、生物の生息環境としても質の高い空間が残されています。

境川上流の水辺の空間では、河川とその周辺の環境を保全するとともに、その環境を生かした景観づくりを行います。また、河川沿いやその周囲では、自転車歩行者専用道路等を利用する市民が、憩いの場所として楽しめる景観づくりを行います。

◆**配慮すべき景観要素◆**

境川とその支流／境川沿いの桜並木／片所谷戸など

<沿道>

◇**歴史ある街道の面影が残る町田街道沿いの景観**

町田街道沿いには、さまざまな店舗が建ち並んでいますが、一方で街道沿いの要所には社寺や昔ながらの生垣や樹木が豊かに育った民家が見られるなど、歴史ある街道の面影が残ります。

町田街道沿いでは、周囲に残る歴史的な資源を守り、育て、それらの資源に配慮するとともに、周辺の住宅地の環境にも十分配慮した景観づくりを行います。

◆**配慮すべき景観要素◆**

町田街道／街道沿いの旧家や寺社など歴史のある街道の面影／隣接する住宅地

<にぎわい>

◇**開発が進み日々変わり続ける多摩境通り周辺**

多摩境駅を中心に、多摩境通り周辺では、近年開発整備が進み、多くの商業施設や集合住宅などが建てられ、多様な景観が形成され、かつての丘陵地の緑豊かな景観は大きく変化しています。

変化の著しい多摩境駅周辺や多摩境通りの沿道では、車の交通や歩行者に配慮し、にぎわいやゆとりのある沿道景観をつくとともに、丘陵地の豊かな緑が感じられる景観づくりを行います。



多摩境通り

◆配慮すべき景観要素◆

多摩境駅や多摩境通りのにぎわい／丘陵の稜線や豊かな緑／
尾根緑道からの眺望／公園や緑地などの緑のつながり

◇基盤整備の進む相原駅周辺

相原駅周辺では、道路等の基盤整備が進められつつあり、地域の街づくりの活動が行われています。周辺の住宅地には、丁寧に維持管理された生垣や庭木など、これまで培われてきた相原の住宅地の生活風景が残ります。地域の特色を生かし、周辺地域の日常生活の中心にふさわしい魅力ある駅周辺の景観づくりを行います。

相原駅周辺では、基盤整備とあわせて、地元住民が中心となって取り組む街づくり活動を踏まえて、周辺地域の日常生活の中心にふさわしい景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

相原駅及びその周辺

<歴史・文化>

◇町田街道周辺に多い歴史・文化資源

町田街道の北側を中心に神社や寺が多く立地しています。円林寺、清水寺、諏訪神社などの寺社では、大きく育った敷地内の立派な樹木や周辺の緑と一体となった景観が見られます。清水寺のアカガシ群落は、市指定天然記念物にもなっています。また、青木家住宅、長福寺、田端環状積石遺構、相原窯跡など、多くが文化財や史跡に指定され、地域の歴史・文化を物語る景観が見られます。

地域の歴史・文化を物語る景観資源を保全し、それらの資源と周辺の豊かな緑が一体となった景観づくりを行います。

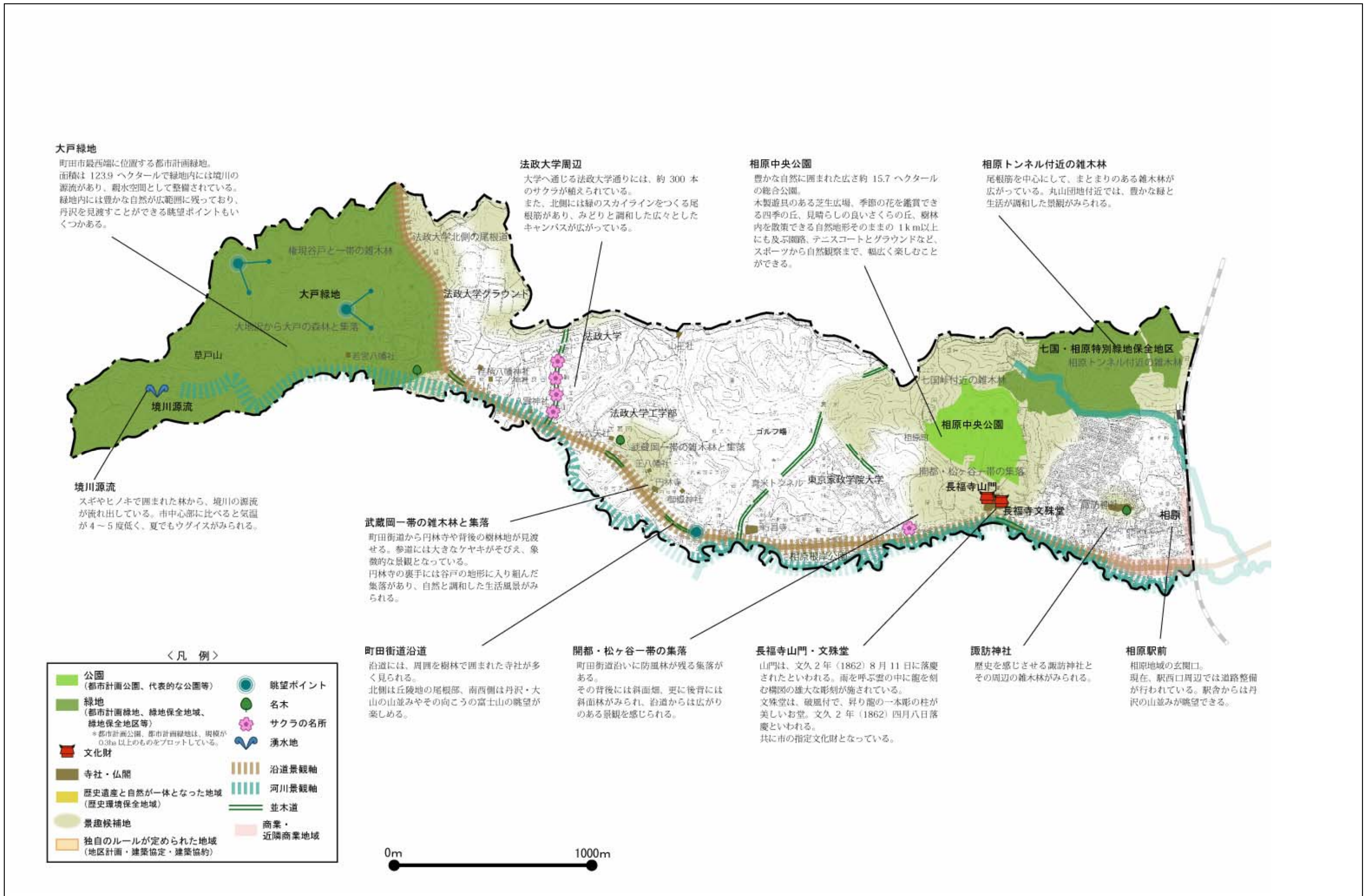
◆配慮すべき景観要素◆

円林寺／清水寺／諏訪神社／青木家住宅／長福寺／田端環状積石遺構／相原窯跡など



青木家住宅

■相原・小山地域の景観要素図1（景観計画の策定の過程で行われた「景観市民調査会」の意見や提案等を参考に整理しています。）



■相原・小山地域の景観要素図2（景観計画の策定の過程で行われた「景観市民調査会」の意見や提案等を参考に整理しています。）

